

歯科 リポート ⑪

南アフリカでのW杯もスペインの優勝と、岡田ジャパンの活躍の記憶を残し無事に終わった。マスメディアはこの開催に合わせるように、今年に入るとサッカー報道だけでなく、お馴染みの動物風景や、現在のアフリカが置かれている社会情勢についてのレポートも熱心で、さながらアフリカの年になった感がある。

その余波は私奴のところまで押し寄せた。私はこの2年で、ケニアの田舎の小中学校での歯科検診と、サバンナやインド洋での観光しかしていない。だがまだアフリカに行つた方が少ない現状では、我が旅の感想でも少しは聞いて貰えるかも知れませんね。まず児童の口腔内を診て驚いたのは、アフ

リカ人の歯が良いといふのは勝手な思い込みでしかなかつた事だ。つまり想像より齶歯が多くつた。急速な近代化



は弊害もまた伴う。都会文化が押し寄せ、砂糖の栽培地がすぐ近くにあるという条件では、いかにサバンナの真ん中の学童といえど、戦後日本での急激な齶歯の増加と似た現象が起きていた。

アフリカ人が特殊な構造の歯牙を持っている訳ではない。「人類はみな兄弟」。その当たり前のフレーズを、人類発祥の地の子供たちの歯を見ることで突きつけられた。

運が良いとナイロビ空港を出て5分で、キリンやシマウマの歓迎を受ける。もちろんナショナルパークに行けばより多くの種



2008.8.10

富山など比較にならぬ巨大都市だ。そこで垣間見た歯科医院は、私が知っている日本のそれよりずっとゆったりとしてリッチに見えた。もちろん巨大スラムも片方に存在する。いわば格差社会の極みといえる。

よくアフリカが遅れているとの悪口を聞く。残念ながらその言葉は当たっている側面がある。だが彼らのために弁護すれば、家畜の扱いを受けた黒人奴隸の数は、新大陸にたどり着いただけで1600万人と言われている。それに加え欧州やアラブへも奴隸を供給してきたのだ。彼らを村々で捕獲する際、粗末な船で輸送する際の「ロス」を計算すると、億単位の働き盛りの人間が抜かれたろう。そしてやって来た近代競争社会。彼らが世代欠落のハンディを取り返すのに幾世紀もかかるのは当然とも言える。だが立ち並ぶオフィスビルや、住民の明るくて熱いエネルギーを眺めていると、今世紀は彼らにとって、かつて傍若無人だった宗主国と呼ばれた国々に、ようやく追いつくための時代なのかも知れないと思えた。

アフリカ雑感

富山市・歯科

宮本 宣良

類と頭数がいる。その辺の曲がり角を抜けないとバッファローやガゼルに出会える。そばの藪が動くかと思うと象の家族の移動に出くわす。そのイキナリ、アタリマエ体験は都市生活者の魂を揺さぶる。だが野火に侵された広大な原野に驚き、各地で動物の頭数が減ったという案内人の説明を聞くと、温暖化がアフリカの地でも起きているのを思い知らされた。少なからぬ予算をさいて保護に取り組んでいると聞いたが、地球規模の異常気象にどこまで立ち向かえるのだろうか。

サバンナを離れ首都のナイロビに行くと、

第31回 保険医作品展

6/30~7/4 県民会館ギャラリーCで



梅雨入り後の六月三十日、展示された大作「五百羅漢」が来場者を迎えます。今年で三十一回となる保険医作品展&ファミリー展が富山県民会館ギャラリーCで開かれました。二十二医療機関から七十九点の作品が出品され、会期五日間に訪れた六三五人の目と心を潤しました。入場すると、まず正面に

第一回目の引落日は、八月二十六日です。
「時払」は、掛金の払い込みのご案内を七月上旬にお送りしていますが、八月十二日までに協会の指定口座へ掛金をお振込みくださいますようお願いいたします。

大清部だより

**グループ生命保険
「加入者カード」を送付しました**

グループ生命保険は、八月一日が契約更新日です。既加入の方で、特にお申し出のない方については、自動継続となります。四・五月の普及期間中に、新規加入のお申込みをされた方の責任開始日と、保障額を変更された方の新しい保障額での責任開始日は、八月一日となります。掛金の第一回目の引落日は、七月二十六日になります。七月六日頃に協会より「加入者カード」と併せて掛金についてのご案内をお送りしていますのでご確認下さい。なお、「加入者カード」には、ご契約の保険金額・保険金受取人が記載されていますので必ず内容をご確認下さい。



六月二十七日、富山県民会館大ホールで映画「いのちの山河」の上映会が行われました。主催は協会も参加する富山県上映実行委員会。上映後多くの人が涙を浮かべながら退出する様子から、旧沢内村の生命行政が今との時代から見ても感動的だつたことがわかります。

映画

いのちの山河

3/18の試写会と6/27の本上映に合わせて1,200人が入場



編集後記

しかし処方患者が予想以上に多いことや添付文書改訂情報で、一転B.P.バッシングである。服用をやめるよう患者を説得する、といふ過激発言まで飛び出した。口腔に与える副作用を軽んじてほしくない一方患者にとって一生寝たきりになる骨折リスクは避けたい。ならば処方医と歯科医の連携を密にして、適切な休薬期間を設けるのが一番だ。先月と今月のバスホスホネット剤をめぐる医科歯科双方の事情、お役に立てた

休業保障にご加入の先生へ

休業された場合は、すぐに保険医協会事務局までご連絡ください。

TEL・076-442-8000